

フォーラム「大槌町の郷土財：湧水からのまちづくりに向けて」開催要項

- 1 日時：平成26年2月8日（土）午後1時から同4時
- 2 場所：大槌町中央公民館大会議室
- 3 主催：大槌町
大槌町教育委員会
いわて県民計画アクションプラン「イトヨ湧水調査研究事業」調査会
- 4 後援：「大槌町復興支援の会」
- 5 趣旨：
本フォーラムは、重篤な津波被害を受けた大槌町の主要な成立要因であり、かつこれまでも重要な地域資源として活用されてきた「湧水」と、そこに生息する特徴的な生物多様性の実態解明と保全活動を通じ、同町の復興に寄与する道筋を議論し提言することを目的とする。
同町において、おそらく湧水保全し活用する営為が、三陸リアス式海岸の大槌という土地を先住と現在の人々が郷土としてきた由縁・「郷土財」であり、その思いこそが復興の根幹となりえて、今後も「大槌の宝」として伝承保持していく原動力となるのではないだろうか。
- 6 内容：
 - 1) 挨拶
大槌町長：碓川豊
 - 2) はじめに
「大槌の郷土財としての湧水環境」
森誠一：岐阜経済大学教授・地域連携推進センター長
 - 3) 話題提供
 - ①「水質マップから考える湧水の見える町」
中野孝教：総合地球環境学研究所教授（京都）、同位体学、理学博士
 - ②「湧水に生きる水生生物：イトヨから見た大槌の湧水生態系」
久米学：岐阜経大、水産学博士
 - ③「住民による大槌の宝を活かしたまちづくりに向けて」
北島淳也：名古屋大学大学院
 - 4) 基調講演
「大槌学の地平から考える復興」
秋道智彌：総合地球環境学研究所名誉教授
 - 5) 質疑応答
対応研究者
各発表者以外に、
鷺見哲也：大同大学（名古屋）、水文学、工学博士
北野潤：国立遺伝学研究所（三島）、分子生物学、医学博士
西田翔太郎：岐阜経大、調査補助
司会
佐々木健：大槌町教育委員会生涯学習課長
- 7 周知
町内各戸へチラシ配布、町ホームページ、報道各社
- 8 定員
100名
- 9 申し込み
事前申し込み
電話、FAX、電子メールなど
- 10 問い合わせ先
大槌町教育委員会生涯学習課
電話：0193-42-2300
- 11 発表者等との調整
「イトヨ湧水調査研究事業」調査会が行う
- 12 経費
いわて県民計画アクションプラン「イトヨ湧水調査研究事業」で賄う